



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 *SGH*通信 2018

No.1 (平成30年4月28日発行)

## *SGH*3年目始動へ！ オープニングセレモニー ～「*SGH*講演会」開催～

2018年4月16日(月)6、7時限目に*SGH*3年目の本格始動となる「*SGH*講演会」を本校体育館で開催しました。以下、本講演会のプログラムです。

1. 校長挨拶
2. 今年度の*SGH*活動について(*SGH*推進部長 野城充生)
3. *SGH*活動報告
  - ①「海外グローバル研修」(カナダ)報告  
(中村優那(2-1)、茂木愛唯(2-1)、新井康平(2-1)、鈴木陽大(2-3)、葛貫千絵(2-4))
  - ②「iP-Uとは…?」インドネシアのサンプリング調査・植物病理学会報告(田上真衣(3-4))
4. 講演 「グローバル最前線、中高生に考えてほしいこと みんなの「当事者意識」を問う」  
(東京海洋大学教授 小松俊明先生)

### 《校長挨拶・今年度の*SGH*活動について》



校長による本校の説明に続いて、*SGH*推進部長による*SGH*のガイダンスや今後取り組むべき課題についての発表がありました。「*SGH*」についてわかりやすく説明し、まさに本校の*SGH*のスローガンのように佐高生をインスパイア(鼓舞)してくれました。(本校の*SGH*スローガンは **Inspire Sako** です)

内容は大きく次の3つのことでした。

- 1 そもそも*SGH*って何??
- 2 なぜ、*SGH*ができたの?
- 3 佐高の*SGH*(ロールモデルとしての田中正造、6年間の取り組み、*SGH*課題研究発表会、海外グローバル研修など)

続いて講演会に先立ち、本校生徒が昨年度の*SGH*活動の海外グローバル研修及びインドネシアのサンプリング調査および植物病理学会の報告を行いました。

## 《SGH 活動報告①「海外グローバル研修」(カナダ)》



中村優那(2-1)、茂木愛唯(2-1)、新井康平(2-2)、鈴木陽大(2-3)、葛貫千絵(2-4)の5名から「海外(カナダ)グローバル研修」の報告がありました。5名を含む計43名の生徒が、3月14日(水)~3月23日(金)の10日間カナダにホームステイし、現地の高校やプリティッシュコロンビア大学で課題研究を発表するなど、現地での様々な活動とおして、言語や文化を学びつつ、グローバル社会を力強く生き抜いていける心と力の伸長を図ってきました。さらに、現地でのボランティア活動、またレクリエーションを通して現地の仲間と交流を深める、大変有意義な研修になりました。その研修の成果を緊張しながらうまく報告してくれました。

## 《SGH 活動報告②「iP-U とは…?」インドネシアのサンプリング調査・植物病理学会報告》



田上真衣(3-4)からインドネシアのサンプリング調査・植物病理学会の報告がありました。田上さんは、宇都宮大学が展開する高校生向けの科学人材育成プログラムである「グローバルサイエンスキャンパス(iP-U)」に参加しており、その一環として本研修に取り組みました。ベコモウィルスが発見されるのは珍しく、さらに調査には英語だけでなく現地の言葉を知っていることが大切であることなど貴重な体験を自分の言葉でとても流ちょうに発表してくれました。田上さんのプレゼンカの高さには多くの方が驚いたことでしょう。

## 《講演「グローバル最前線、中高生に考えてほしいこと みんなの「当事者意識」を問う」



講演は、3年連続となる東京海洋大学の小松俊明教授にいただきました。

中高生に考えてほしいことを3つ(①単位を大きく②関連づける③移動する)を分かりやすくお話していただきました。宇都宮市の寿司の支出金額ランキングの話から始まり、そこから関連付けて最終的には「当事者意識があるか」という問いにたどり着き、さらに、具体的にアクションを起こすことが本校生にもできることを示してくださいました。さらに、社会には答えがわからないものばかりで、基礎知識だけでは対応できない、SGHは「答えが見つからないことを考える学習」だから大切なのだという話しは多くの生徒たちの心に残ったことでしょう。

SGHは3年目を迎え、3学年ともにSGHとしての活動を行う年度になりました。今後皆さんがどのような活動をしてくれるのかとても楽しみです。大いに期待しています。